

# 【教育委員会議事録】平成29年5月定例会

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 開催日時                    | 平成29年5月29日（月） 9：30～：11：30  |
| 開催場所                    | 下関市教育センター 2階中研修室   |
| 出席委員の氏名                 | 波佐間 清（教育長）<br>藤井 悦子（教育長職務代理者）<br>児玉 典彦<br>林 俊作<br>松田 まさ子   |
| 欠席委員の氏名                 | 欠席なし   |
| 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名 | 教育部長 萬松 佳行<br>教育部次長 伊藤 信彦<br>教育部次長 井上 成人<br>教育政策課長 三好 洋一<br>学校教育課長 木下 満明<br>教育研修課長 三井 清<br>学校支援課長 宇都宮 義弘<br>学校保健給食課長 伊藤 信彦<br>教育指導監（生徒指導推進室長） 瀬下 信二<br>生涯学習課長 古西 修一<br>文化財保護課長 沖吉 洋一郎<br>図書館政策課長 高森 俊明<br>美術館長 中村 美幸<br>歴史博物館長 町田 一仁<br>土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 吉留 徹<br>下関商業高等学校事務長 富田 智雄<br>菊川教育支所長 林 文男<br>豊田教育支所長 香川 利明<br>豊浦教育支所長 戸田 一仁<br>豊北教育支所長 西村 敬教<br>教育政策課主幹 光吉 計志<br>教育政策課主査 岡本 誠也<br>教育政策課主任 殖木 章充 |
| 傍聴人の数                   | 傍聴人なし  |

次第（目次）

|           |  |      |
|-----------|--|------|
| 【開会の宣告】   | ・ ・ ・ ・ ・  | P 3  |
| 【署名委員の指名】 | ・ ・ ・ ・ ・  | P 3  |
| 【教育長報告】   | ・ ・ ・ ・ ・  | P 3  |
| 【議案審議】    |  |      |
| 議案第 2 2 号 | 下関教育功労者表彰（篤行表彰）について                                    | P 5  |
| 議案第 2 3 号 | 下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を<br>改正する規則             | P 6  |
| 議案第 2 4 号 | 平成 2 9 年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について                           | P 7  |
| 議案第 2 5 号 | 平成 3 0 年度使用下関商業高等学校教科用図書採択について                         | P 7  |
| 議案第 2 6 号 | 下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について                                  | P 8  |
| 議案第 2 7 号 | 下関市社会教育委員の委嘱について                                       | P 9  |
| 議案第 2 8 号 | 下関市文化財保護審議会委員の委嘱について                                   | P 9  |
| 議案第 2 9 号 | 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について                         | P 11 |
| 【専決事項】    |  |      |
|           | 下関市菊川ふれあい会館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について                          | P 12 |
|           | 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について                        | P 12 |
| 【報告事項】    |  |      |
|           | 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」の認定について<br>・ ・ ・ ・ ・ | P 13 |
|           | 中央図書館の開館時間の変更について                                      | P 14 |
|           | 下関市立豊北中学校内図書室の開館時間の変更について                              | P 15 |
|           | 「にんげんだものー相田みつを」展開催について                                 | P 15 |
|           | 土井ヶ浜遺跡整備事業基本構想の進捗状況について                                | P 16 |
| 【その他】     | ・ ・ ・ ・ ・  | P 18 |
| 【閉会の宣告】   | ・ ・ ・ ・ ・  | P 19 |

## 【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは教育委員会5月の定例会を開催いたします。

## 【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

本日の議事録の署名は「児玉委員」「松田委員」をお願いいたします。

本日の日程は、日程1の議案が8件、日程2の報告が専決の報告2件、報告事項が5件。日程3のその他となっております。

## 【教育長報告】

波佐間清(教育長)

それでは、議案第22号の審議に入る前に教育長報告を行いたいと思います。

それでは、お手元の資料の3ページ、4ページにあります。最初に平成29年度日本遺産「関門”ノスタルジック”海峡～時の停車場 近代化の記憶～」の認定、市長共同記者会見が旧門司税関において4月24日夕方5時から開催されました。このときに、私も同席を部長とともにいたしました。この旧門司税関においてちょうど台湾の映画の記者発表これが先にあり、その後、この我々の日本遺産の記者会見を行ったところでもあります。この「関門ノスタルジック」という日本遺産のことについては既にお話をしておりますので状況はおわかりだと思っております。

続きまして、平成29年度教育基本方針説明会が4月25日、市長にご挨拶をいただいて、教育委員さんも同席をいただきまして、この基本方針説明会を開催したところでもあります。

それから4月29日の午後から、源平追悼剣道大会が開催をされ、これは毎年赤間神宮の竜宮殿の下の駐車場にもなりうる広場で、毎年開催をされています。この剣道大会、源平に別れての赤白で毎年剣道部の方々がされますが、試合をやっている最中に先帝祭のお上臈さんの練習を上天橋でされている、そういう姿も見ることができました。

次がコンサート「2017下関商業高等学校の吹奏楽部の演奏会」が同じく4月29日、5時30分から新しくリニューアルされた市民会館大ホールで開催をされました。下関の皆さん大変立派な演奏会でもっともっと観客が増えるといいなという思いがしております。1,000名以上はいたと思いますが、1,400名入りますので、せっかく素晴らしい演奏をするので、また、是非聞きに行かれたらというふうに思っております。

さて、5月3日が先帝祭参拝ということで、今年は晴れて大変よかったと思います。ここ2年雨続きだったので観光客も少なかったわけですが、今年はそういう反動で40万人近い観光客が来たというふうに報道ではされています。

それから、平成29年度の青少年補導センター運営協議会が5月9日教育センターの会議室でありました。これは青少年補導の今後の運営協議ということでまた大きな会合がございます。

また、同じ日の5月9日、夕方4時半から「下関市のいのちの日」の取り組みと弔問ということで前田市長さんが安倍さんのお宅を訪問していただきました。これは、トルコ、イスタンブールにまず前田市長といった折に、議員時代から私自身も安倍さんのことについては関心を持っていた。機会があったら訪問をしたいという話を向こうでしました。それはお聞きをして「それはいいことだ、ぜひ日程調整をしましょう」といって帰ってきたところ、安部さんの方からお手紙が市長あてに来ておりました。そういう関係で、ちょうどいいタイミングだということでこの日を設定して訪問をさせていただきました。安部さんご夫妻は市長訪問を大変喜んでおられまして、自ら来られたことに対して「大変ありがたい。うれしいです」。今年、安部さんご夫婦が川中中学校において講演をされたことも、その新聞記事を見て市長も大変感動したということをお話されました。そういう意味でもこの訪問の意義は大きかったのではないかなというふうに思っております。

さて、先ほど表彰いただきました第69回全国都市教育長協議会総会並びに研究大会ということで、奈良市において5月18、19日に、奈良100年会館ということでここでありました。表彰状の贈呈から、文部科学省の講話、研究部会では私は学校教育部会に行かしていただきました。翌日は分野別研究発表ということで、全国の教育長が自分の市で行っている特色ある研究を発表していただきました。大変素晴らしい発表でありました。19日の午後には私は視察の方は薬師寺の方と西大寺を訪問させていただきました。薬師寺の方は皆さん御存じかどうかわかりませんが、高田好胤。講話が上手だった高田好胤。この方が非常に貧乏寺を大きな薬師寺に変えた。寄附をしっかりといただく講演や、そういうもので建て替えられたとかそういうことを。それから東大寺に対しての西大寺。西大寺はテレビのニュースで皆さんも時々見られるんじゃないかと思いますが、大きな抹茶茶碗を3人ぐらいで抱えてお茶を飲む、そういうシーンがニュースにも時々ですが、これが西大寺というところでありまして、我々教育長が、大茶碗を飲み干していく、回し飲みをする大変愉快的な体験をさせていただきました。

次に、春季の大運動会であります。昨日もありましたが、5月21日、28日そこに私が行った学校が書いてありますが、どの学校も一生懸命やっていました。初日の吉田小学校は、市長さんも地区の運動会と兼ねているということで、ツール・ド・しものせきの開会行事を終えて吉田小に来られました。ご挨拶をいただいて、私もそれぞれの学校に途中参加のところも、あいさつをさせていただきました。昨日は、桜山小学校に行きました。神田小学校と統合記念という冠を付けて一緒にやっていました。大変良かったなというふうにも思いました。桜山小は藤井教育委員さんが来られておりました。それから、関西小、向山小、山の田小と行きました。山の田小の方は児玉教育委員さん、それから松田教育委員さんも保護者としておられました。それぞれ皆さん方、またご感想もあるかと思いますが、素晴らしい春の大運動会でありました。

それから5月21日はお田植え祭が住吉神社で開催され、これに参加をしてきました。勝山中学校の生徒たちが意欲的にお田植え際に参加をしていただき、子供達も非常にお田植え祭に協力をして、それからお田植行事のやり方、田んぼに入るというのは今ごろの子供達はあまり経験がないと思いますが、しっかりと頑張っておりました。

最後に5月24日は市長とともに下関市総合教育会議が新館5階でございました。教育委員の皆さんもこれに参加をしていただき、充実した会議になったのではないかなというふうにも思っております。今、報告をザッといたしました。教育委員の皆様方で運動会でもいいし、この前の総合教育会議のこともいいし、何かご意見なりご感想なりがあったら述べていただければと思いますがいかがでございましょうか。藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

私は、滝部小学校と桜山小学校の運動会に伺いました。滝部小学校は、少人数ですが地域ぐるみで子供を盛り上げているなというのを感じて、とても微笑ましかったです。桜山小学校ですが、統合した神田小学校の子供達がどうなったのかとても気になっていました。けれども、よさこい踊り総踊りでは、皆一糸乱れずに行われていたので、安心しました。それと1番印象に残ったのは、借り物競争で子供達が卒業生を巻き込んで一緒に走る競技があり、皆奮って参加していたのを見て、「この学校は子供達が小学校時代を楽しんで過ごしたんだな」という感じがしてとても嬉しかったです。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

総合教育会議についてですが、もう少し時間があればよかったです。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。林委員さん何かありますか。

林俊作(教育委員)

私も、昨日文関小学校に行ってみて、子供達が元気がいいというのを大変感じました。私も以前会長をしておりましたけれども、そのときの人達がほとんどいなくなっていて、ちょっと寂しいかなと思いました。

波佐間清(教育長)

はい。松田委員さん。

松田まさ子(教育委員)

27日の日に、生野小の運動会に伺いました。父兄観戦よりも熱心に見ていたんですけれども、すごく皆頑張っていました。1つ気になったので、校長先生に提案させていただいたのが、先生方が皆さんユニフォームを着ていらっしゃいます。PTAのご父兄の方達もずっとトラック内にいらっしゃって少しぐちゃぐちゃになる感じがあるので、それはどうですかって言って校長先生にお話しました。もう1つは気になって言えなかったんですけど、リレーの時のバトンの渡し方をもうちょっと徹底して練習すると、もっとスムーズに行くのになっというのがすごく気になりました。どの学年もちょっとまごついていたので。体育の先生の指導かわからないんですけども、それをスムーズにやると、もっとリレーが盛り上がるんじゃないかなっというふうに感じました。でも、とても天気が良くて本当にいい運動会でした。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。皆さん方の感想も含めてお話をいただきました。それでは他にございませんか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ないようでしたら日程1の議案審議に入ります。

#### 【議案審議】

議案第22号 下関教育功労者表彰(篤行表彰)について

波佐間清(教育長)

最初に、「議案第22号教育功労者表彰について」お願いをいたします。教育政策課。

三好洋一(教育政策課長)

「議案第22号下関教育功労者表彰(篤行表彰)について」でございます。資料は5ページとなります。本件は下関市教育委員会表彰規則第7条の規定に基づき、教育功労者を決定しようとするものであります。このたびは規則第5条第4号により、学校支援課長から内申があったのち、規則第6条に基づき、去る4月24日に開催された選考委員会において候補団体として選考され、本日、議案として提出するものでございます。委員の皆様にはあらかじめ選考委員会における資料をお配りしております。こちらをご参照ください。内容につきましては、王喜小学校ステージ幕の取替えを進める会様より、本市学校教育の充実に資することを願い、下関市立王喜小学校に対して価格にして125万円相当の体育館でステージ幕の寄附があったものでございます。以上、簡単ではございますが、ご審議のほどよろしくお願いたします。

波佐間清(教育長)

ただいま報告がございましたが、篤行表彰ということでステージの幕取替えということで、大変なご寄附をいただいたようであります。何かご質問ご意見がありましたら、お願いをいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

125万円ということで大変高額な寄附をいただいたということで、功労者表彰として決定するというので、承認でよろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは異議なしということでこれは承認といたします。

**【議案審議】**

議案第23号 下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則

波佐間清(教育長)

それでは続きまして、「議案第23号 下関市に教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則」お願いをいたします。はい、教育政策課長。

三好洋一(教育政策課長)

それでは「議案第23号下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則」についてご説明いたします。資料は6ページ、7ページとなります。この規則は、教育委員会の権限に属する事務の一部を、市長部局の補助機関である職員へ補助執行させることについて定めたものでございます。

今回の改正は、平成29年7月からの共通基盤システムの稼動に伴い、電子公印を使用して学校指定通知書の交付を行うことに伴い改正するものでございます。具体的な改正の内容でございますが、7ページの新旧対照表をご覧ください。第2条第1項第2号において、総務部の出先機関である12支所の職員に、同条第2項において、市民部市民サービス課の職員に、さらに同条第4項第6号において、総合支所市民生活課の職員に、それぞれ補助執行させるものでございます。施行日は、平成29年7月1日からとしております。議案第23号について、簡単ですがご説明いたしました。審議をよろしく願いいたします。

波佐間清(教育長)

ただいま議案についての説明がございました。委員の皆様方、何かご質問なりご意見がございましたらお願いをいたします。よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ありがとうございます。それでは承認をいたします。

**【議案審議】**

議案第24号 平成29年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第24号 平成29年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について」をお願いいたします。学校教育課長。

木下満明(学校教育課長)

学校教育課でございます。それでは「議案第24号 平成29年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について」ご説明をいたします。資料は8ページ、9ページとなります。本市におきましては、障害のある幼児、児童、生徒の適切な就学や教育支援について、調査・審議を行うために下関市教育支援委員会を設置しております。現在の委員の任期が平成29年5月31日をもって満了することに伴い、9ページの名簿のとおり新たに平成29年度委員の委嘱を行うものでございます。委嘱の期間は平成29年6月1日から平成30年5月31日までの1年間となります。委嘱する委員は、1番から30番の30名でございます。そのうち、新たに委嘱する委員は備考欄の右に「新」とある6名で、その他24名の方は引き続きお願いする方々でございます。

では新たに委嘱する委員について簡単にご説明をいたします。1番の豊田中学校 村岡校長、3番の阿川小学校 間恵校長につきましては前者の異動に伴う後任の方でございます。7番の垢田中学の森本教諭につきましては特別支援学級の担任として。17番の、下関南総合支援学校の小坂部主事については、総合支援学校の部主事として。21番の名池小学校 松下教諭につきましては、地域コーディネーターとして。25番の名池小学校 岡教諭につきましては、通級指導担当者として特別支援教育に関して多くの経験とともに、確かな指導力を持った教員であり、委嘱することとしたところでございます。説明は以上でございます。ご審議のほどどうぞよろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

ただいま説明がございました。何かご意見、ご質問がありましたらお願いをいたします。よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

特にないようでしたらこの議案については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします。

**【議案審議】**

議案第25号 平成30年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第25号 平成30年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について」をお願いいたします。教育研修課。

三井清(教育研修課長)

それでは「議案第25号 平成30年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について」ご説明いたします。資料は10、11ページでございます。高等学校の教科書の採択方法については、法令上具体的な定めはありませんが、公立の高等学校については、採択の権限を有する所管

の教育委員会が、各学校の実態に即して採択を行っています。下関商業高等学校の使用する教科用図書については、毎年、教育委員会議によって、お手元の資料11ページにお示した「採択実施要領」が議決され、要領に基づいて採択が行われております。お示している実施要領につきましては、これまでの実施要領に基づき、年度の変更を加えたものでございます。以上、議案25号についてご説明いたしました。ご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございました。下関商業高等学校の教科用図書の採択についてということの説明がございました。何かご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。よろしゅうございますか。下商は毎年やっておりますので特によろしゅうございますかね。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それではこの件について、承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、承認といたします。

**【議案審議】**

議案第26号 下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第26号 下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について」お願いをいたします。はい、生涯学習課。

古西修一(生涯学習課長)

生涯学習課です。よろしく申し上げます。資料の12ページをお願いします。「議案第26号 下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について」ご説明いたします。社会教育法第30条及び下関市立公民館の設置等に関する条例第4条の規定に基づき、各公民館20名以内で公民館運営審議会委員を委嘱しております。審議会の職務は、公民館長の諮問に応じ、公民館の運営に関する事項について調査・審議することと定められております。このたび、現在の委員の任期が29年5月31日をもって満了することから、13ページ目から14ページ目の名簿のとおり、新たに委員168名の委嘱を行うものです。委嘱期間は29年6月1日から31年5月31日までの2年間となります。ご審議のほど、どうかよろしく申し上げます。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございました。公民館の運営審議会ということの委員の皆さん方であります。13ページ、14ページに名簿が書いてありますが、何かご意見がありましたらお願いをいたします。よろしゅうございますか。それでは特にご意見がないようですので承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします。

**【議案審議】**

**議案第27号 下関市社会教育委員の委嘱について**

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第27号 下関市社会教育委員の委嘱について」お願いをいたします。生涯学習課。

古西修一(生涯学習課長)

資料の15ページとなります。「議案第27号 下関市社会教育委員の委嘱について」ご説明いたします。社会教育法第15条及び下関市社会教育委員会条例第2条の規定に基づき、下関市社会教育委員20名を委嘱しております。委員の職務は、社会教育に関する諸計画を立案すること、教育委員会の諮問に応じ意見を述べること、また諮問に関する研究調査を行うことと定められております。このたび、現在の委員の任期が29年5月31日をもって満了することから、16ページの名簿のとおり、新たに20名の委嘱を行うものです。委嘱期間は29年6月1日から31年5月31日までの2年間となります。なお、今回初めて委員候補者となられた方々は、名簿の2番 吉井委員、それから4番 和崎委員、それから17番 中野委員、20番 吉山委員の4名の方々です。また社会教育委員会の定例会につきましては、7月の3日月曜日教育センターにおいて開催をする予定です。ご審議のほど、どうかよろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、社会教育委員の委嘱についての説明がございました。新たに委員になられる方が4名おられました。何かご意見がありましたらお願いをいたしたいと思っております。よろしいですか。元教育委員の吉井委員、それから新しく連合婦人会の会長になられる和崎法子さん等それぞれ多分そういうあたりが変わられた方が変更になったという事でありましょう。よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それではご異議がないようですので、承認といたします。

**【議案審議】**

**議案第28号 下関市文化財保護審議会委員の委嘱について**

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第28号 下関市文化財保護審議会委員の委嘱について」お願いをいたします。はい。文化財保護課お願いします。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。それでは「議案第28号 下関市文化財保護審議会委員の委嘱について」ご説明いたします。17ページをお願いいたします。本市は教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関し、専門的事項及び技術的事項を調査・審議し、並びにこれらの事項に関し必要と認める事項を教育委員会に建議するため、教育委員会に下関市文化財保護審議会を設置しております。専門的な分野についてご審議いただくため、絵画、彫刻、建造物、古文書、考古資料、史跡などの分野において学識経験を有する方に委員をお願いしております。下関市文化財保護条例におきまして、審議会は12名以内で組織し、委員の任期は2年で再任することができますと定めております。このたび平成29年5月31日をもって現在の委員の任期が満了するため、新たに平成29年6月1日から平成31年5月31日までを任期とする委員を委嘱しようとするものでございます。現在は10名の委員でございしますが、このうち、清永忠夫委員に

つきましてはご高齢と健康面の理由から委員を辞退したい旨の意思表示がございましたが、清永委員を除く9名の方には再任についてご内諾をいただきましたので文化財保護審議会委員として委嘱したいと考えております。以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいまご説明がございましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。今の説明の中で清永委員の説明がございましたが、その代わりといたらおかしいですが、後任者というか、そういう方は入っていないのでしょうか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

清永先生は史跡がご担当だったんですけれども、ここを見ていただくと、渡辺一雄先生が史跡のご担当でもございますので、特に支障が生じないという事で欠員補充はしてはおりません。

波佐間清(教育長)

はい。ということでございます。他にご意見ございますか。はい、どうぞ。児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

委員を引き受けていただける方はいらっしゃいますか。

波佐間清(教育長)

はい、課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

今、児玉委員も申されたようになかなかですね、後任の方がいらっしゃらないというのが悩みの種でございます。何とかお引き受けいただけませんかというお願いにも似たような形で委員をお願いしているというふうなことが実情でございます。その中でも比較的交代は進んでおりまして、上から2番目の井形さんが、平成27年にご就任いただいたんですけれども、この方はまだ45歳でございまして、それから下から4番目の清水満幸さんという民俗文化財担当の方も、平成23年にご就任いただいたんですけれども57歳ということで、徐々に若返りを目指しております。

波佐間清(教育長)

名誉教授の方々はだんだん高齢になってくると思います。今、児玉委員のご意見があったように、そのあたりをしっかりと見据えて、新しい方も少しずつ入れていくということをお願いをしたいと思います。児玉委員さん、よろしゅうございますか。

児玉典彦(教育委員)

はい。

波佐間清(教育長)

ほかの委員さん何かございますか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

それではないようですので、この議案第28号については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします。

**【議案審議】**

議案第29号 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして「議案第29号 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について」をお願いします。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムです。「議案第29号 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。資料の18、19ページをご覧ください。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会は、人類学ミュージアムの運営を円滑にまた活動的にどういうふうにやっていくのかということによって様々なご意見をいただく委員です。現在の委員が平成29年5月31日に任期満了となりますことから、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの設置等に関する条例第5条の規定に基づきまして、19ページの委員の候補者の方々に土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの運営協議委員を委嘱するものでございます。なお、任期は平成29年6月1日から平成31年5月31日までの2年となっております。19ページの10名の候補の方々なんですけども、3名の方が再任で、7名の方が新任という形になっております。よろしくご審議のほどお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございました。この土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの協議会の委員ということで、新任の方がかなりおられます。何かご意見がございましたら。はい。藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理者)

8番目の清水さんについてですが、この方は萩博物館の館長をされている方ですか。この方が土井ヶ浜の委員になるということですが、詳しく教えて下さい。

波佐間清(教育長)

はい、課長。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

清水さんは先ほど文化財保護課の方では民俗文化財ということだったんですけども、萩の博物館の館長をされていらっしゃいます。多分皆さん方もよくご存じだと思いますが、萩の博物館はいろんな企画を精力的にされていまして、その一番先頭に立ってやっておられる方で、博物館学にも非常に造詣が深いということで、今回、忙しい中委員になっていただくようお願いいたしました。何とか地元のことだということで。もともと豊北町出身の方なので、何とか地元を盛り立てて行こうということで、委員になっていただきました。

波佐間清(教育長)

清水さんは豊北町出身ですか。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

栗野の出身です。屋号が萩という。

波佐間清(教育長)

そうですか。はい。そういう方がなられたということでもあります。ほかにご質問ありますか。

よろしいでしょうか。ないようでしたらこの件については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします

**【専決報告】**

下関市菊川ふれあい会館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、日程2の専決の報告にまいります。「下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について」お願いをいたします。はい、菊川教育支所。

林文男(菊川教育支所長)

菊川教育支所よりご報告申し上げます。20ページをご覧ください。「下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について」でございます。新年度になりまして、各所属されます団体の代表者交代に伴う、旧委員の解嘱と後任委員の委嘱でございます。先ず、下関市立菊川中学校校長の異動に伴い、戸田宏純様から横内淳様に。次に、下関市菊川自治連合会会長の交代に伴い、内山峯生様から森本修司様に。次に、菊川町PTA連合会長の交代に伴い、河村文英様から中野健二郎様に。また、菊川文化協会会長の交代に伴い、済明鷹様から重枝良明様に審議会委員を委嘱いたしましたので、ご報告申し上げます。なお、後任者の任期でございますが、下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例第19条第3項に規定されております通り、前任者の残任期間平成29年7月31日までとなっております。以上ご報告申し上げます。

波佐間清(教育長)

はい。今説明がございました。何かご意見がありましたらお願いいたします。これは任期は残任期間で一月二月ぐらいですが、またすぐ次の任期ということになるのでしょうか。その辺はどうですか。お願いします。

林文男(菊川教育支所長)

この夏までですので、また新たにお願いをいたしたいと思っております。

波佐間清(教育長)

何か他にご意見はございますか。よろしいでしょうか。それでは、この件につきまして報告済みといたします。

**【専決報告】**

下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、「下関市立豊北歴史民俗資料館運営委員会委員の解嘱及び委嘱について」お願いをいたします。土井ヶ浜遺跡、人類学ミュージアム、お願いいたします。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

人類学ミュージアムです。専決報告「下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」ご説明いたします。資料の23ページをご覧ください。これは現在、委員をされてらっしゃいました豊北中学校の秋枝一成校長先生が平成29年3月31日に退職されまして、その後任となられました内田京子校長先生に運営協議委員会を委嘱するものでございます。なお

任期は平成29年9月30日までというふうになっております。以上ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。この件について何かご意見がありましたらお願いします。これはよろしいですかね

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので報告済みといたします。

**【報告事項】**

日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」の認定について

波佐間清(教育長)

続きまして、報告事項に入ります。まず「日本遺産“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」の認定についてお願いをいたします。はい、文化財保護課

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護です。よろしくお願いたします。それでは「日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」の認定についてご報告いたします。24ページをお願いいたします。まず日本遺産についてでございますが、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化伝統を語るストーリーを日本遺産として認定し、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る制度でございます。この制度は国の文化芸術立国の方針のもとで平成27年度に創設され、文化庁は平成32年までに日本遺産として100件程度を認定することしております。文化庁は、平成28年度まで37件を日本遺産として認定しており、平成29年度におきましては79件の申請から日本遺産審査委員会の審査結果を踏まえ、17件を日本遺産として認定し、4月28日に報道発表を行いました。県内では平成28年度までに日本遺産に認定された自治体はなく、平成29年度認定申請を行いましたのは、本市のほか、防府、山口、萩市が合同で申請をいたしました。結果として本市のみが日本遺産に認定され、県内初の日本遺産となりました。本市の日本遺産ストーリーは平成28年度において、北九州市と連携して作成したもので、タイトルを「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」としております。ストーリーの概要は、関門地域は幕末の下関戦争を契機とした下関・門司、両港の開港以降、沿岸部には重厚な近代建築が続々と建設された。狭隘な海峡を外国船が行きかう景観の中、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が時が、停止したかのように現在も残され、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだようなノスタルジックな町並みに出会うことができるというものでございます。25ページをご覧ください。ストーリーを構成いたします文化財は42件で、そのうち下関市が19件、北九州市が26件となっております。ストーリーからもおわかりのように、関門海峡沿いに残る明治から昭和前期までのレトロな建造物が中心となっております。構成文化財の一覧表で網掛けをしておりますのが本市の文化財でございます。文化庁は日本遺産を活用しました地域活性化を支援するため、全額補助事業でございます日本遺産魅力発信推進事業費補助金を創設しておりまして、今後は、この補助金を活用しながら文化財部門だけではなく、関連する部局とも緊密に連携して構成文化財の積極的な活用を推進してまいります。なお日本遺産認定のチラシと現在下関市立考古博物館におきまして開催しております日本遺産認定を記念しました企画展「下関の文化財2 昔日の関門海峡」のチラシをお配りさせていただきます。以上、報告いたします。

波佐間清(教育長)

ただいま報告がございましたが、ご意見がありましたらお願いいたします。チラシがこれはあるんですかね。これを見ていただいたらと。どうぞ、林委員。

林俊作(教育委員)

こういうのっていうのは、下関市の市役所の方が、誰か代表で北九州市と話をしながら、これにしましょう、あれにしましょうということを決めるんですか。例えば、関門ビルにしましょうとか、中国労働金庫下関支店の建物にしましょうとか、ふぐの料理にしましょうとかっていうのはどういうシステムで決められる形になっているんですか。

波佐間清(教育長)

はい課長さんお願いします。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

先ほどの説明の中でですね、平成28年度から北九州市と協議を進めてまいりましたというふうにお話したんですけれども、うちの文化財保護課と北九州市の文化財関連部局が、平成28年度に23回ほど協議をいたしました。それでストーリーの内容をどういうふうにしましょうとか、それに合わせて構成文化財をどういうふうなところを盛り込みましょうとか、そういうふうなことを協議してまいりまして、ストーリーがこれ1つだけなんですけれども、実際につくったストーリーは19案に上りまして、それを文化庁の方に参りまして色々これはどうでしょうかとご提示して色々ご指示をいただきながら最終的にこのストーリーに絞りこんだところでございます。

林俊作(教育委員)

わかりました。ありがとうございます。

波佐間清(教育長)

ただ今説明があったように、このストーリーにいくまでに19件の案を出して、その中からこの日本遺産にふさわしいものは何かというのをしっかり協議をして、そして文化庁の方にもこのあたりの案でどれが日本遺産に認定されやすいとか、そういうあたりの指導も受けてそういう形で大変ご苦労をされました。案をつくるのに19もつくられるというのはそれだけ大変なストーリーで。その中でどういうものの中に織り込んでいくかということで、主なものがそこに載っているものだと思います。他の方で何かご意見ありましたら。よろしいですか。ないようですがこの日本遺産をしっかりと全国へPRして来場者も多くなることを願っているところであります。よろしく願いをいたします。それでは報告済みといたします。

#### 【報告事項】

中央図書館の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

続きまして、中央図書館の開館時間の変更についてお願いをいたします。はい、図書館政策課。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策でございます。よろしく願いいたします。中央図書館の開館時間の変更につきまして報告いたします。資料30でページをご参照ください。下関市立図書館の設置等に関する条例第4条の規定に基づき、中央図書館について開館時間を変更するものでございます。まず、8月13日の日曜日につきまして、午前9時から午後5時まで。8月19日の土曜日から20日の日曜日まで午前9時から午後5時まで、臨時に開館時間を変更するものでございます。変更理由は8月13日は、関門海峡花火大会、8月19日から20日は下関馬関まつりが開催されることによりまして、中央図書館周辺で交通規制が実施されること。また夜間館内に飲食物等持ち込ま

れ、図書館資料の汚損・破損につながるおそれがあるためでございます。こちらの変更は、例年どおりのものとなっております。よろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がございました。何かご意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

ないようですので、報告済みといたします。

**【報告事項】**

下関市立豊北中学校校内図書室の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

続きまして、「下関市立豊北中学校校内図書室の開館時間変更について」お願いをいたします。図書館政策課。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策課でございます。よろしくお願いいたします。下関市立豊北中学校校内図書室の開館時間の変更」につきまして報告いたします。資料3 1ページをご参照ください。平成29年6月10日土曜日に、豊北中学校の校舎電気系統点検が実施されますことに伴い、停電いたします。それにより、図書館電算システムが作動しない、そして校舎の出入り口の自動ドアも作動しないということで、サービスに支障を来すため臨時に開館時間を午前9時から午後2時までに変更するものでございます。以上報告いたします。

波佐間清(教育長)

はい。今報告がございましたが、ご質問がございましたらお願いいたします。

(ありません)

波佐間清(教育長)

特にならなければ報告済みとしてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは報告済みといたします。

**【報告事項】**

「にんげんだものー相田みつを」展開催について

波佐間清(教育長)

続きまして、別紙であります、「『にんげんだものー相田みつを展覧会』の開催について」をお願いをいたします。美術館、お願いいたします。

中村美幸(美術館長)

美術館でございます。よろしくお願いいたします。下関市立美術館で、7月1日から7月30

日まで開催されます、特別展「にんげんだものー相田みつを展」についてご案内させていただきます。お手元のチラシ、カラーコピーなんですけれどもご覧ください。相田みつをは、心に響く数々の言葉で多くの人に感動を与え続けている書家であり詩人です。栃木県の足利市に生まれ、戦中戦後の動乱期に青春時代を過ごし、さらに短歌と禅に出会うことで命の尊さをテーマに、自分の言葉と自分の書による独自のスタイルを確立して、人間としての有様、生き方を考えさせる作品を数多く残しています。このたびの展覧会は、相田みつを美術館の全面的な協力を得まして、代表作を含む初期から晩年までの作品や愛用品資料など約120点を展示予定でございます。見る人の心に時に優しく、時に力強く語りかけてくる相田作品の魅力を探るものでございます。展覧会では、その時の自分の心に響く1点にきっと出会えるかと思えます。ぜひご観覧いただき、また職員の皆様にもご周知くださいますようによろしくお願いいたします。以上です。

波佐間清(教育長)

ただいま説明がございました。これは7月1日、オープン式は9時半からですかね。

中村美幸(美術館長)

はい。9時半から開会式を行います。

波佐間清(教育長)

昨年度から相田みつを氏の作品をとということで、今回実現をいたしました。昨年の夏の教育祭で相田一人さんの講演をいただきまして、皆様方もお聞きになられたと思いますが、大変素晴らしい講演でございました。市内の小・中学校の先生方は相田一人氏の講演を感銘深く聞かれたので、多分、学校関係者は多く行かれるだろうと思いますが、一般市民にもぜひ多くの人に声をかけていただき、この作品を見ていただければと思います。なお、裏側の方にギャラリートークと記念講演会が小さく出ております。この辺ちょっと説明をしてもらえますか。

中村美幸(美術館長)

開会式の当日になりますけれども、開会式終わってすぐにもあるんですけれども、それ以外に午前11時と午後2時から、相田みつを美術館の館長 相田一人館長のギャラリートークがございました。作品についての簡単な解説になります。また翌7月2日日曜日の午後1時から「一生勉強、一生青春」ということで同じく相田館長の講演会がございました。大変大勢の入場者があるかと思えますので、1階の光庭で行う予定でございます。ぜひお越しいただければと思います。

波佐間清(教育長)

特に講演を聞き逃しておられる方は2日の日に講演を聞かれたらいかがかなというふうにも思っております。どうぞよろしくお願いをしたいと思います。何かご質問がございますか。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理者)

大人だけでなく子供達に多く来ていただきたいなと思います。学校の先生には子供達に行くように促していただければと思います。

波佐間清(教育長)

子供達は無料ですので、ぜひ子供を連れて来て頂ければと思います。他にございますか。よろしいでしょうか。それではないようでしたら報告済みといたします。

**【報告事項】**

土井ヶ浜遺跡整備事業基本構想の進捗状況について

波佐間清(教育長)

続きまして、「土井ヶ浜遺跡整備事業基本構想の進捗状況について」お願いいたします。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、お願いします。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムです。よろしく申し上げます。「土井ヶ浜遺跡整備事業基本構想の進捗状況について」ご報告いたします。32ページ、33ページをご覧ください。すでに昨年の教育委員会の方でもご報告いたしましたように、土井ヶ浜整備事業の基本構想の検討委員会を7月に設置をいたしまして、市内に今散在しておりますプレハブ、あるいは収蔵庫がいっぱいになっております、そういうような文化財の資料でありますとか博物館資料のきちんとした保存環境の中で残していこうということの共通収蔵施設。それから平成5年に開館してもう20年以上たっております、老朽化している土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの今後のあり方を協議して基本構想を作成するための一助としまして、広く有識者及び市民の方々から意見を聴収するための委員会を設置しました。33ページに参考といたしまして、15名の土井ヶ浜整備事業の基本構想検討委員会の委員の方々のお名前をお示ししております。平成28年の11月24日と29年の1月24日、2回委員会を開催いたしました。第1回の11月24日には(1)から(6)までありますような内容につきまして事務局側の説明、それからそれに対して委員の方々から色々な意見をいただきました。主な意見としましては、多くの人が楽しめて身障者の方々にも優しく配慮できたような施設整備ができたようなものをつくっていただきたいと。それから土井ヶ浜遺跡という国の史跡であります土井ヶ浜遺跡というものを保存の立場の方からですね、景観や立地環境をきちんと残すような形で整備をしてもらいたいと。それから共通収蔵施設は単なる収蔵施設だけではなくて、展示や体験や、あるいはその調査研究作業そのものの過程が目に見えるような、可視化されたような施設整備を望まれるということです。それから資料保存につきましては、今の環境が非常に悪いところで資料を残してます。観点から温湿度、それから光、生物被害及び防犯・防災等、大きな震災等がありまして、それに対応ができるような施設整備をきちんとしてもらいたいという意見が出ました。それから第2回は(1)から(3)につきまして事務局側で説明。で、主な意見としましては、共通収蔵施設と人類学ミュージアムの一体的な整備をしていただきたいと。それから、入館者増を図るための国道191号線からの進入路の確保を何とかできないだろうか。これは191号線そのものが非常に夏時期に角島に向かうような車が非常に多いと。で、道の駅にも非常に人が多いので、その混雑を解消できるようなルートを考えていただきたいというような意見が出ました。それから、33ページの方に行きますが、観光施設及び市内の各博物館との連携強化を図っていただきたいと。それから資料の台帳、データベースの早急な整備が必要という意見もいただきました。これはハードの面ばかりではなくて、人的な面である程度その専門的な職員を増やしてやってもらいたいという意見も出ました。さらに共通展示収蔵施設管理・運営、それから職員配置というものに対しましても収蔵資料の安定的な管理及び収集・管理・調査・研究とそういうのは行政で実施するべきだと。それから活用や普及とかああいうものにつきましては行政だけではなくて、民間やボランティアの多くの方々が入ってきてもらって協力体制のもとで実施されたらどうかという意見が出ました。さらには学校教育との連携というものも意見の中には出ました。このような意見を踏まえまして第3回にもう一度、本年度委員会を実施しまして、その後内容を調整した後、教育委員会の定例会、あるいは12月の議会にて議会報告を予定しております。以上、ご報告を終わります。

波佐間清(教育長)

ただいま報告がございましたが、何かご意見がありましたらお願いいたします。特にございませんか。ないようですので報告済みとしてもよろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは報告済みといたします。以上で報告等が終わりました。

【その他】

波佐間清(教育長)

それでは日程3のその他にまいります。何かございましたお願いいたします。はい、歴史博物館長。

町田一仁(歴史博物館長)

歴史博物館でございます。お手元に「女流文人 田上菊舎」のチラシを配付さしていただいております。歴史博物館は昨日で高杉晋作の没後150年の企画展終わりました、6月3日から7月30日までの2カ月間で「女流文人 田上菊舎 江戸の女子旅」という企画展を開催することにしております。ご存知のように田上菊舎、豊北町の田耕出身の日本を代表する加賀千代女と双璧を成す江戸時代後期の女性の文化人でございます。この展覧会は菊舎の〇〇の家に残っております資料を中心に構成いたしております、旅に生きた田上菊舎の姿と生涯を紹介するものであります。菊舎は俳句だけではなくて、漢詩や和歌や七弦琴といわれる中国の琴、それから茶道などの色んな諸芸を極めておりました、それを融合させた晩年は菊舎芸術というべき総合芸術に発展させておりますので、ぜひ、ご覧いただけたらというふうに思っております。特に遺品の中では、菊舎が旅に持ち歩きました茶道具なんかも展示しております、チラシの上には中村宗哲が田上菊舎に送りました棗だけを写真掲載していますが、そのほかに茶杓でありますとか、筒茶碗でありますとか、香合、釜の釣手とか、こういった茶道具なんかも展示しております。ぜひ2ヶ月会期がございますので、お近くをお通りの節はぜひ博物館にお寄りいただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

このパンフレットの地名がこう書いてありますが、これは田上菊舎が訪ね歩いた地ですか。その辺お願いします。

町田一仁(歴史博物館長)

日本地図入れて何かスタンプラリーみたいなチラシになってて申し訳ございませんが、ここの地名すべて菊舎が実際に歩いた旅の道でございます。で、特に松島、山形は松尾芭蕉の「奥の細道」の道順を逆から辿ってっておりますし、江戸や京都や大阪、奈良、それから九州は生涯何回となく訪れているところがございます、まさに旅に生きた菊舎を跡付けるものというふうに思っております。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

難しいことをお願いするかもしれませんが、ここに長府とあるのですが、田上菊舎が長府のまちのどこを歩いたのかそんなことがわかる、可能ならそのことを地図に示してもらえれば、長府のまちを歩こうという人が出てくるのではないかなと思います。

波佐間清(教育長)

長府のまちを歩いた道っていうか、その辺がわかりますか。ここの中で長府って書いてある。

町田一仁(歴史博物館長)

田耕で生まれて、その後長府に住んでおりますし、菊舎の生家跡の碑だとかあるいは長府の各地に菊舎の句碑が、例えば功山寺だとか美術館だとか残っておりますし、お墓も徳応寺と大乘寺、2つお墓があります。そういったものを写真パネル等で紹介して、そこに展覧会を見たお客さん

を誘導できればというふうに思っておりますので。

波佐間清(教育長)

なにか、それをワンペーパーであるとそれを見ながら歩いていけるっていう、多分そういう構想ができるといいなということだと。

町田一仁(歴史博物館長)

パネルを展示して歩いてもらおうと思っていました。ワンペーパーあった方がより活きると思いますので、それを展覧会開始までに作らせていただければと思います。

波佐間清(教育長)

ほかの委員さん何かございますか。今、私が1番目を引いたのはこの襖なんですが、「中村宗哲 個人蔵」ですが、中村宗哲という人は今現在も中村宗哲の名前は残っております。千家十色とって、いろんな職人がいる。その中の1つ襖を作る中で中村宗哲家というのはとても有名な塗り師であり、そういう意味でもこの中村宗哲の襖を見てみたいなど、パッとお茶をやってる人であったらすぐ思われると思います。そのぐらい有名な作品であろうというふうに思います。そのほか、色々興味深いものがたくさんありますので、美術館と歴史博物館、その他も色々企画をやっておりますので皆様方も関心があるときにはどうぞ足を運んでいただければというふうに思います。他によろしゅうございますか。はい、それではその他で何か報告事項がありますか。委員の皆さん何かありますか。よろしゅうございますか

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようでしたら次回の日程であります、6月の教育委員会定例会は6月29日木曜日午後2時からということになりますので、会場はこの会場になります。6月29日午後2時から当会場で開催予定でありますのでよろしくお願いをいたします。委員の皆さんよろしゅうございますか。

(はい)

**【閉会の宣告】**

波佐間清(教育長)

それでは本日の議事、すべてを終了いたしました。本日はこれで終了をいたします。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員